

春 夏 秋 冬  
榿木館日和

しゅもくかんびより ◆ 第三十六号



発行日:2026年3月26日  
発行:文化のみち榿木館  
指定管理者:株式会社COSMO CONSULTANT



井元夫妻の肖像画 右:為三郎、左:為三郎夫人・たつ

# 井元夫妻の肖像画

The Iwano couple in their times

大正末期に、建てられた邸宅  
文化のみち榿木館(旧井元為三郎邸)  
洋館2階の展示室に並ぶ  
2枚の肖像画 描かれているのは、  
かつての館の主(あるじ)・輸出陶磁器商  
井元為三郎(1874年-1945年)、たつ夫妻  
蔵の中で 大切に守り継がれてきました  
一世紀あまりの歳月を経て  
変わることなく差し込む  
ステンドグラス超しの陽光に包まれ  
夫妻のたたえる  
やわらか微笑みと、まなざし  
それはまるで 訪れる人を  
長いあいだ 待ちわびていたかのように  
どこか懐かしく、そして温かい

## 井元夫妻の

しょうぞうが

# 肖像画

文化のみち榎木館の洋館2階展示室に、二枚の肖像画があります。

ひとつはこの館のかつての主(あるじ)、井元為三郎。愛煙家として知られる為三郎が、愛用のたばこを手に静かに微笑む姿は、処世訓「幸福は我が心にあり」を体現するかのような穏やかな表情で、ほんのりとした幸福感に満ちあふれ、見る人の心にまでその温もりをそっと届けてくれるようなたたずまいで描かれています。少し小さめのサイズの肖像画には為三郎夫人・たつが描かれています。肖像画で妻の絵が若干小さく描かれるのは、明治期から続く家父長制(家制度)の価値観を反映した表現であったと考えられます。この絵に描かれていると思われる眼鏡が今も榎木館に展示されています。(写真①)

## 肖像画の歴史と変遷

西洋のものと思われる肖像画は、中国でも絵画の象徴として古くから発達してきました。六世紀・唐の時代には宮廷画家が存在したといわれ、



井元夫妻の肖像画 写真右…為三郎、写真左…為三郎夫人・たつ文化のみち榎木館蔵

遣隋使・遣唐使の派遣をきっかけに、大陸文化が本格的に伝わると、肖像画も日本へ広まりました。平安時代の絵巻物に見られる美しい「やまと絵」の成立と発展とともに、その表情豊かな描写と写実的な技法が結びつくことで、日本独自の肖像画が形づくられていきます。鎌倉時代には、

天皇や貴族、武士、僧侶、さらにその



写真① たつ夫人の愛用品と思われる眼鏡

祖先が描かれ、血統や身分の高さや格式の象徴を意味するうえで、肖像画は重要な役割を果たしました。

1839年、フランスでダゲレオタイプと呼ばれる写真の原型が発表されると、その革新は明治期の日本にも波及し、政府は記録のみならず外交の場でも写真を積極的に活用しました。急速な広がりを見せた写真文化の到来は、社会に大きな変貌をもたらし、同時に肖像画を「絵画」として再定義する大きな契機となりました。

## 肖像画の作者は？

井元夫妻の肖像画の作者について、唯一のがかりは、同じ画家の名前と思われる「makotos」(写真②)が為三郎の絵は左上に、たつの絵は裏に記されていること、為三郎の額裏に残された、名古屋市中区広小路に存在した額縁店「三角堂」の店名のプレート(写真③)のみで、残念ながらそのほかの詳細をたどるに至っていません。このサインについてご存知の方は、ぜひ榎木館までご一報いただけると幸いです。今回の肖像画の特集の取組みにあたり、井元家四代目のご当主よりもう一枚の肖像画(写真④)をご提供いただきました。額装はされておらず、前述の肖像画に比べると、為三郎

は穏やかな晩年の表情とは異なり、どこか緊張を帯びた引き締まった面持ちがうかがえることから、若い頃の姿を描いたものであることがわかります。また、複数の肖像画が残されているのは、陶磁器産業や近代産業が急速に発展した名古屋で、当時の画家が富裕層や企業家、文化人の肖像画を描く機会が多かったという時代背景によるものとも考えられます。

百年の歳月を重ね、のこされた井元夫妻の肖像画。変わらぬ微笑みをたたえながら、このお屋敷の記憶とともに、これからも、大切に守り継がれていくことでしょう。



写真④ 為三郎の若かりし頃を描いた肖像画(提供…井元産業株式会社)



写真② 肖像画に記されたサイン



写真③ 額装を手がけたと思われる額縁店・三角堂のプレート

# 大募集!!

文化のみち榿木館では、以下2つのイベントの出店・出展者を募集いたします  
申込・問い合わせ ☎052-939-2850 (文化のみち榿木館) 担当 福井

## 「朝マルシェ」の出店者



昨年度の「朝マルシェ」の様子

日時:2026年10月31日(土)、11月1日(日)、11月3日(火・祝) 午後9時～午後4時  
場所:榿木館玄関前  
詳細:1 ブース3m×3m 1 ブース出店料 1日1,000円(1日でも3日間通しでも構いません) 使用条件:火器使用不可 貸出:テント(2つまで)、テーブル、椅子など。  
飲食スペースあり(洋館2階洋室のみ)

■詳細:個人・法人問わず、スイーツ、お弁当、野菜、ハンドメイド商品などご自慢の商品を販売しませんか。先着順を基本としますが、内容によっては出店いただけない場合もございます。11月は、名古屋城から徳川園までの一帯「文化のみち」エリアでは、「歩こう文化のみち」と題して、当館をはじめ各施設でイベントや来場者に特典がある、一年で一番賑わいを見せる時期となっております。

## 「クリスマス ライトアップde night」 ワークショップ出展者、 音楽(生音)などの公演 イベント」



昨年度の「クリスマスライトアップde night」でライトアップされた榿木館の庭園の様子

日時:2026年12月18日(金)から25日(金) (月曜日は休館日のため除く)  
場所:榿木館 和室1、和室2

■詳細:参加費の設定はあまり高額でなければ自由とさせていただきますが、来館者にはライトアップ入場料として別途入館料300円が必要となります。※ライトアップだけを見に来られるお客様もいます。

開場時間:17時30分から20時(終了)

(終了時間厳守、参加者誘導が必要な場合は、出展者さま側で別途スタッフをお手配ください。)

### ●例1:「クリスマスクラシックコンサート」

参加費2,000円、定員30名 開場17時半 開演18時 終演19時

### ●例2:「ライトアップを見ながらクリスマスオーナメントづくり」

参加費1,500円、定員20名 開演17時半から19時半

※クリスマスにこだわる必要はございません。開催したいお日にち、実施する内容など、あわせてお問い合わせ、お申し込みください。先着順を基本としますが、内容によっては実施いただけない場合もございます。

## 令和7年度催し暦 (1月～3月)



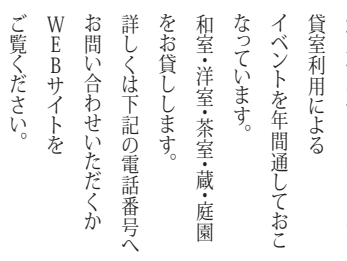
3 / 15  
さくらの茶会



2 / 3 ~ 2 / 15  
インスタレーション展  
すけるとどめるのひかりの居場所



1 / 11  
新春三連休イベント  
五十鈴たたら舞  
福招く古式の舞初め



文化のみち榿木館では、当館主催イベントをはじめ、貸室利用によるイベントを年間通しておこなっています。  
和室・洋室・茶室・蔵・庭園をお貸しします。  
詳しくは下記の電話番号へお問い合わせいただくかWEBサイトをご覧ください。



3 / 13  
女将の部屋 歴史講演会  
歌舞伎編



1 / 14 ~ 18  
吉川みな個展「ひとひらの